

スポーツデータラボ

ラボの課題

「スポーツを『する』『みる』『ささえる』」に関するさまざまな課題に対し、データを活用して解決を目指す

春学期の活動内容

- ①連携先であるデータスタジアム株式会社を知ることを目的に、グループで調査を実施
- ②ファジアーノ岡山の試合を実際に観戦し、スタジアムでのデータ活用やサービスに関する企画を作成
- ③データスタジアム株式会社に企画提案・プレゼンテーション実施

連携先について



データスタジアム株式会社は、野球やサッカーなどのスポーツデータを収集・分析し、スポーツチームやメディア、企業に提供している会社。データを活用してチームの戦術や選手育成、ファン向けサービスの向上を支援している。



活動の詳細

①スタジアムでサッカー観戦を楽しむためのデータ活用

スタジアム観戦をもっと楽しめるように、データスタジアム株式会社のデータを活用する企画をまとめた。

陸上競技場を活用したファンイベントやファジアーノ岡山に関するクイズ、データとAIを活用したリアルタイム実況の観戦プランを提案した。



②パートナーシッププログラム

スポーツデータを活用し、企業の広告・ビジネス課題を解決する施策や、企業の露出を増加させる企画をまとめた。

SNSへの毎試合後のスタッツ投稿へのスポンサーロゴ掲載、パス成功率＝途切れないという観点での新たなスポンサー獲得に向けた提案を考えた。



③地域活性化への貢献

地元企業とのコラボや岡山ならではの施策について、データを用いてスポーツが地域に貢献できる企画をまとめた。

推し選手スタンプラリー、晴れの国を打ち出した企画、ファン参加型の歩数チャレンジ、スタジアムグルメの割引企画などを提案した。



まとめと今後

データスタジアム株式会社の方に、オンラインで企画のプレゼンを実施（7/24）。質問や改善策などをいただき、最終的な企画提案資料を作成した。今後は学生とデータスタジアムの担当者が連携して提案内容のブラッシュアップを行い、同社の基準を満たした企画については、実際にファジアーノ岡山への提案を実施する方針である。



担当教員：久永 啓/石田 恭生

メンバー：井内 敦也/有吉 春樹/中廻 楓/向井 諒佑/中山 大生/藤本 健太/日吉 悠空/末定 凌/齋藤 駿/齋藤 凌吾/上平 遼/藤井 啓斗/窪田 仁/赤間 然/田村 陸人/吉田 匠吾/眞鍋 悠/竹内 克実